

箱を開けてから装置が使えるようになるまでの手順を説明します。このスタートアップガイドに従って作業してください。

安全に関するご注意
装置をセットアップする前に「ユーザーズガイド」の「安全にかかわる表示について」「使用上のご注意」を必ずお読みください。
をお読みの上、注意事項を守って正しくセットアップしてください。

警告

- ぬれた手で電源コードの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。
- 雷が降り出したらケーブル類を含め装置に触らないでください。落雷による感電のおそれがあります。
- ご自分で本体装置の分解・修理・改造を行わないでください。

注意

- 水、湿気、ほこり、油、煙の多い場所、また直射日光の当たる場所に設置しないでください。
- 装置に添付されている電源コード以外を使用しないでください。
- 電源コードは指定の電圧、コンセントに接続してください。
- 電源コードはタコ足配線にしないでください。

ステップ1 添付品を確認する

梱包箱を開け、次の添付品がそろっていることを確認してください。

- 本体×1
- フロントベゼル×1
- 電源コード×1
- ラックレール×2
- ネジ(A)(M4平ネジ)×5
- ネジ(B)(M6ネジ)×9
- ネジ(C)(M3ネジ)×4
- コーナット(M6)×9
- マウンティングイヤー×2(左×1、右×1)
- ゴム足×6
- ソフトウェアパッケージ式×1*1
- お客様登録申込書×1
- 保証書×1*2
- 使用上のご注意×1
- スタートアップガイド(本書)×1
- Promise Array Driver Software Kit×1*1
- ご使用時の注意事項×1

*1 添付のCD-ROMやDVD-ROMは、再セットアップの時に必要となりますので大切に保管しておいてください。
*2 梱包箱に貼り付けられています。

ステップ2 ラックを設置する

本体はEIA規格に適合した19型(インチ)ラックか、卓上に設置して使用します。ラックに設置する場合は、次の条件を守ってラックを設置してください。

ラックに設置する場合

以下の環境条件を満たした場所
室内温度: 10°C~35°C*
湿度: 20%~80%

前後1m以上、左右60cm以上、高さ40cm以上のスペースがとれる場所

複数のラックを設置するときは必ず連結させる

添付の電源コードが届く範囲にあるコンセントまたはUPS

AC100V、平行二極アース付きのコンセントまたはUPS

水平でじょうぶな床の上

水平でじょうぶな床の上

* 室内温度15°C~25°Cの範囲が保てる場所での使用をお勧めします。

ステップ3 本体を設置する

本体を卓上またはEIA規格に適合した19型(インチ)ラックに設置します。

卓上に設置する場合

以下の環境条件を満たした場所
動作時
室内温度: 10°C~35°C*
湿度: 20%~80%

* 室内温度15°C~25°Cの範囲を保てる場所での使用をお勧めします。

本体の前後に150mm以上のスペースがとれる場所

本体底面に滑り止めの「ゴム足」(6個)を取り付ける(フロントパネルの付け根から10cm内側で本体の両端から10cm内側と中央に各1個、本体の背面から10cm内側で本体の両端から10cm内側と中央に各1個)。

床の上、または水平でじょうぶな机や台の上

AC100V、平行二極アース付きのコンセント

添付の電源コードが届く範囲にあるコンセント

ほこりの少ない、きれいで整頓された部屋

本体前面

中央

本体背面

10cm

10cm

10cm

10cm

ステップ4 ケーブルを接続する

本体にネットワークケーブルと付属の電源コードを接続します。

詳しくは「ユーザーズガイド」の2章「セットアップ」を参照してください。

以上で本体の電源をONにできる状態になりました。

重要

- 本体に接続するケーブルは、LANケーブルと添付の電源コードのみです。その他のケーブルを接続する必要はありません。また、複数のケーブルを接続するときは、まずLANポート1のみに接続して初期設定を行い、設定完了後に残りのコネクタに接続してください。
- 本装置への各種オプションの取り付け・取り外しは、本書で示すセットアップが完了した後に行ってください。

最後にコンセントまたは無停電電源装置(UPS)へ

添付の電源コード

ハブ(マルチポートリピータ)

LANポート2

LANポート1

シリアルインタフェースを持つ装置(モデムなど)

ハブ(マルチポートリピータ)

ステップ5 電源をONにする

電源をONにします。

1 本体のLANポート1コネクタとネットワーク環境として使用するHUBにLANケーブルが接続されていることを確認する。

2 POWERスイッチを押して、システムの電源をONにする。

システムの起動後、ビープ音のパターン(ビープ音を2回長く4回短く)を4回繰り返したら、正常に起動したことになります。

電源ONの後、
「ビーピー! ビープビープ!」を[4回]繰り返し続ければOK!!

ステップ1 ラックレールからインナーレールを取り外し、インナーレールのネジ穴と本体側面のネジ穴を合わせ、最前部と最後部のネジ2カ所をネジAで固定する。

ネジA

装置左側

装置右側

ネジA

ステップ2 ネジC(各2本)でマウンティングイヤー(左)およびマウンティングイヤー(右)を取り付ける。

ネジC

マウンティングイヤー(左)

マウンティングイヤー(右)

ネジC

ステップ3 本体を取り付ける位置(高さ)を確認してからコーナットをラックフレームのスロット(角穴)に取り付ける(前面(左右とも)および背面(左右とも)に各2個ずつ)。

1U(1Uを示す刻印がある)

本体前面(1U間にある3つのスロットのうち、上と下に取り付ける)

1U(1Uを示す刻印がある)

本体背面(1U間にある3つのスロットのうち上と下に取り付ける)

* コーナットはラック内側からマイナスドライバなどでコーナットのクリップをスロットに引っかけてください。

ステップ4 ラックの奥行きに合わせてアウターレールを引き延ばし、コーナットを取り付けた位置でラックレールの前後の長さを調節する。

ラック前面側

ラック背面側

ラックレールのネジ穴部分がラックのフレームより手前であることを確認してください。

ステップ5 ラックレールを支えながらネジB(左右各4本)で固定する。

ネジB

ネジ2カ所

ステップ6 本体前面が手前になるように持ち、本体側面のインナーレールをラックに装着したラックレールに差し込む。

ご購入いただいた時期によって、リリースレバーの位置や形状が異なります。

リリースレバー

リリースレバー

リリースレバー

リリースレバー

- 取り付けは一人でもできますが、なるべく複数名で行うことをお勧めします。
- 本体の上下に搭載されている装置とぶつかる場合は、いったん本体を取り出して、ラックレールの固定位置を調整してください。
- 途中で本装置がロックされたら、側面にあるリリースレバー(左右にあります)を押しながらゆっくりと押し込みます。

ステップ7 本体の前面をゆっくりと押し、ラックへ完全に押し込み、マウンティングイヤーの手ネジでラックに固定する。

マウンティングイヤーの手ネジ

ステップ8 フロントベゼルを取り付ける。フロントベゼルの両端のイジェクターレバーを内側へスライドし、本体のフレームに引っかけるようにしながら取り付ける。

イジェクターレバー

ステップ5 電源をONにする

電源をONにします。

1 本体のLANポート1コネクタとネットワーク環境として使用するHUBにLANケーブルが接続されていることを確認する。

2 POWERスイッチを押して、システムの電源をONにする。

システムの起動後、ビープ音のパターン(ビープ音を2回長く4回短く)を4回繰り返したら、正常に起動したことになります。

引き続きシステムのセットアップをします。
裏面をご覧ください。

▶▶▶▶▶ 表面からの続きです。

ステップ6

初期設定をする

管理PCからリモート接続できるようにするために、本装置の初期設定を行います。

重要 出荷時にパスワードが設定されています(出荷時のパスワードについては、本装置に添付されているスタートアップガイドに記載されています)。

本体内蔵のLANポート1に割り当てる情報として、「コンピュータ名」、「IPアドレス*」、「IPアドレス用のサブネットマスク*」を用意してください。

* IPアドレスとサブネットマスクは、設定およびリモートデスクトップ接続を行うWindowsマシン(管理PC)と同じネットワークになる値にしてください。

* 設定を行うWindowsマシンおよび管理PCに、リモートデスクトップがインストールされていない場合は、事前にリモートデスクトップのインストールを行ってください。リモートデスクトップは、Windows XP の OS 媒体に格納されています。または、マイクロソフト社のホームページ(<http://www.microsoft.com/japan/>) にアクセスし、「Remote Desktop Connection Software」のキーワードで検索して入手してください。

* 初期設定ツールからリモートデスクトップを起動する場合は、「C:\¥Program Files¥Remote Desktop」のフォルダにリモートデスクトップがインストールされている必要があります。もし、別のフォルダにインストールしている場合は、以下の設定を行ってください。初期設定ツールを起動した際に Windows フォルダに生成される「iStorageNSSetup130.ini」というファイルを開き、「RdesktopPath」に記述されたファイルパスを正しいリモートデスクトップのインストールフォルダに変更してください。

初期設定ツールの実行は、本装置と同じネットワーク上にあるWindowsマシン(Windows XP/Windows 2000/Windows Server 2003)と添付の「EXPRESSBUILDER (SE) CD-ROM」を使用します。

参照 詳細については、初期設定ツールのヘルプを参照してください。初期設定ツールを起動せずにヘルプを参照したい場合は、以下のファイルを開いてください。

[「EXPRESSBUILDER\(SE\) CD-ROM」の¥NASAP¥iStorageNSsetup.chm](#)

① 任意のWindowsマシンのCD-ROMドライブにEXPRESSBUILDER (SE)CD-ROMをセットする。

Autorun機能によりメニューが自動的に表示されます。表示されない場合は、CD-ROMドライブ内の「¥MC¥1ST.EXE」を実行してください。

② [ソフトウェアのセットアップ]から[初期設定ツール]をクリックする。

初期設定ツールが起動し、エンドユーザライセンス契約(EULA)の確認画面が表示されます(初回のみ)。

③ EULAを確認の上、同意する場合は[はい]をクリックする。

自動発見ウィンドウが表示されます。

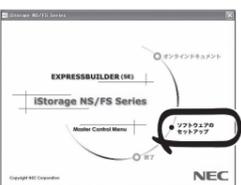
④ [開始]をクリックする。

iStorage NSの一覧が表示されます。

⑤ リモートデスクトップ起動の表示が「確認中」から「可」または「不可」に変わったら、本装置を選択し、[設定変更]をクリックする。

設定変更画面が表示されます。

重要 DHCPサーバが存在する場合、リモートデスクトップ起動が「可」となり、リモートデスクトップ接続し設定を変更することができます。初期設定ツールからの設定変更を中断した場合、しばらく間を置いた上で再度自動発見を行ってください。



⑥ [コンピュータ名]欄にコンピュータ名を入力する。

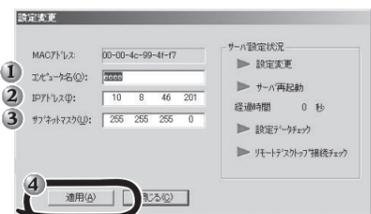
重要 ネットワーク上に同一のコンピュータ名を持つマシンが存在すると、設定変更後の再起動ができなくなります。コンピュータ名が重複していないことを確認してください。

⑦ [IPアドレス]欄にIPアドレス、[サブネットマスク]欄にサブネットマスクを入力する。

重要 IPアドレスの設定に間違いがあると、設定変更後の再起動や、管理PCからのリモートデスクトップからの接続ができない場合があります。IPアドレスに誤りがないことを確認してください。

● 設定するIPアドレス/サブネットマスクは、初期設定ツールを動作させているマシンと同一ネットワークになるように設定してください。

⑧ [適用]をクリックする。



⑨ 設定変更を確認するウィンドウが表示されたら、[OK]をクリックする。サーバ設定の変更が始まり、サーバ設定状況の内容が順次更新されます。

⑩ 完了メッセージが表示されたら、[OK]をクリックする。

以上で、本装置の初期設定が完了し、管理PCからのリモートデスクトップ接続ができる状態になりました。

参照 初期設定ツールにおいて、設定変更ができないなど、問題が発生した場合は、初期設定ツールのヘルプの「トラブルシューティング」を参照してください。

ステップ7

管理PCからリモートデスクトップ接続を行って設定する

本装置と同じサブネット上にあるクライアントマシン(Windowsマシン)で必要事項を設定します。

参照 設定方法の詳細については、ユーザズガイドを参照してください。

① クライアントマシン上でリモートデスクトップを起動する。

② 接続先に本装置のコンピュータ名を入力する。コンピュータ名での名前解決が出来ない場合は、コンピュータ名ではなくIPアドレスを入力してください。



③ ユーザー名に「Administrator」、パスワードに本装置に登録したパスワードを入力して[OK]をクリックする。出荷時のパスワードについては、本装置に添付されているスタートアップガイドに記載されています。

④ ユーザーズガイドや注意制限事項、および管理者ガイドを参照して必要事項を設定する。

重要 以下の設定を行ってください。

- 日付と時刻の設定
- サーバー名(コンピュータ名)の設定(初期設定ツールでコンピュータ名を設定済みの場合は不要)
- WORKGROUP/ドメイン参加 の設定

ステップ8

パスワードを変更する

出荷時にパスワードが設定されています(出荷時のパスワードについては、本装置に添付されているスタートアップガイドに記載されています)。

本装置のセキュリティを保つために、パスワードの変更は必ず行ってください。

重要 本装置をWORKGROUP環境にしてパスワードを変更してください。

ステップ9

ESMPROをセットアップする

NECが提供するサーバ管理・監視ソフトウェア「ESMPRO®」のセットアップをします(その他にもディスクアレイを管理するソフトウェアなどがあります。詳しくは「ユーザズガイド」を参照してください)。

本装置には、「ESMPRO/ServerAgent」と「ESMPRO/ServerManager」がバンドルされています。

ESMPRO/ServerAgent

iStorage NSシリーズの内部温度やファン、ハードディスクなどの状態監視やサーバに異常や障害が発生したときに自動的にサーバの電源をOFFにしたリ、サーバ監視用コンピュータやページャへの通報などを行うユーティリティです。

参照 設定方法については、ユーザズガイドを参照してください。

ESMPRO/ServerAgentをインストールした装置の状態は管理PC(ESMPRO/ServerManager)のディスプレイから下図のように確認することができます。

ESMPRO/ServerManager

ESMPRO/ServerManagerはiStorage NSシリーズと同一のネットワーク上にある管理PCにインストールするソフトウェアです。

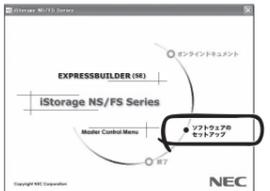
EXPRESSBUILDER (SE) CD-ROMをCD-ROMドライブにセットして表示されるメニューから[ソフトウェアのセットアップ]→[ESMPRO]の順にクリックします。以降は、画面に表示されるメッセージに従ってください。

iStorage NS連携モジュール

ESMPRO/ServerManagerがインストールされている環境にiStorage NS連携モジュールを適用することで、ESMPRO/ServerManagerより、本製品の管理ツール(WebUI)が起動できます。EXPRESSBUILDER (SE) CD-ROMをCD-ROMドライブにセットして表示されるメニューから[ソフトウェアのセットアップ]→[iStorage NS連携モジュール]の順にクリックします。以降は、画面に表示されるメッセージに従ってください。

重要 iStorage NS連携モジュールはシステムに「通常使用するブラウザ」として登録されているブラウザを起動するため、Internet Explorer 6.0以降のブラウザを事前に設定しておくことが必要です。

以上ですべてのセットアップが完了です。



お読みください

OS再インストールの前に

OSの再インストールを行うと、ハードディスクドライブ上のデータはすべて削除されます。再インストールを始める前に、必要なデータをバックアップすることをお勧めします。

システムのパフォーマンスを活用するために

N8103-102 増設バッテリーを搭載している場合は、本装置のパフォーマンスを最大限に活用するために、ディスクアレイコントローラのライトキャッシュの設定を「Write back」にする必要があります。特にNFS機能を使用する場合にはこの設定は有効ですので、「Write back」に設定することをお勧めいたします。

ディスクアレイ構成を変更した場合

ディスクアレイ構成を変更した場合は、ユーザズガイドを参照して、ディスクアレイコンフィギュレーション情報のバックアップを行ってください。

電源制御機能の使用について

本装置には電源制御機能をサポートしていないアプリケーションが含まれています。スタンバイ/休止状態で運用しないでください。

本装置のシャットダウン操作について

本体のPOWERスイッチを使って本装置をシャットダウン(電源OFF)しないでください。シャットダウンは、管理PCからリモートデスクトップ接続し、シャットダウン操作を行ってください。UPSに接続している場合は、UPSの管理ソフトウェアを利用したスケジュールシャットダウンを利用することもできます。

本装置のドキュメントについて

管理者ガイドおよびユーザズガイドは「EXPRESSBUILDER(SE)」CD-ROMに格納されていますが、改版されることがあります。最新版は以下にてダウンロードできますので、ご確認をお願いします。

管理者ガイド
<http://www.express.nec.co.jp/care/user/adminguide.html>

ユーザズガイド
<http://www.express.nec.co.jp/care/user/istorage.html>

iStorage NSシリーズのご利用にあたって

iStorage NSシリーズでは、保守サービスとして「PP・サポートサービス」を準備しており、技術サポートを有償にてサポートいたします。本サービスをご契約いただく、電話や電子メールなどでのお問い合わせ、ご契約者様専用IDでのWWWサーバへのアクセスなどが可能となり、ソフトウェアのQ&Aや技術情報などをご覧いただけるようになります。また、ソフトウェアのリビジョンアップ情報などもご提供いたします。

「PP・サポートサービス」の詳しい内容については、以下をご覧ください。

<http://www.nec.co.jp/service/support/pp/index.html>

NEC iStorageシリーズのホームページ

<http://www.express.nec.co.jp/istorage/products/ns/index.html>



商標について

ESMPROは日本電気株式会社の登録商標です。その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 2007
NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
このマニュアルは再生紙を使用しています。